

男女共同参画社会をめざして 実践報告集 2013

中学校

学年	教科等	単元名等	内容
特別支援学級	保健体育	体の発育・発	中学時代の(思春期)の身体の変化について、12月～2月まで週1回で授業を進めている。男女の身体づくりやしきみについて理解し、お互いの特性を大切にし、お互いの体を大切にするを学習している。 *H23あざれあの男女共同参画の講座をやっていただき、ボランティア団体による寸劇を見せていただき、男女の差別・生涯の差別でなく自分らしさが大切であると学んできた
特		「男女の思いやり」	男女参画センター「あざれあ」にて、男女共同参画に関する学習を実施した。それを受け、今年度は、その講話を受けた2,3年生から、1年生に感想を伝え、その際の劇を実際に演じた。劇をすることにより、「男女共同参画」について、理解を深め、また、友達同士の関わりの中で、周りの友達にやさしくかわることができた。
1	保健体育	心身の発達	思春期における心身の発育及び発達に関する内容で授業を行った。第二次性徴の特徴の発言に伴う生徒各自の悩みや戸惑いについて基本的な知識を与えながら、性との不安を取り除く話し合いを行い、男女の違いを意識させながらも、互いに思いやりをもって、接し、性差・個人差を克服してともに協力を歩めるように考える機会をとった。
	帰りの会		<ul style="list-style-type: none"> ・導入 冬休みに家でどんなお手伝いをしたかを想起させ、男女でお手伝いの内容にあまり差がないことがわかった。 ・第32回全国中学校人権作文コンクール中央大会の入賞作品「僕の父親」を紹介し、近年では、家庭での役割分担も様々な選択肢があることを紹介した。 ・「父親が専業主婦になる」ということに驚く生徒が多かった。しかし、将来自分がどんな大人になり、どんな職業に就き、どんな家庭をもつかを想像させると、やはり、男女関係なく仕事を分担すべきだという考え方もでてきた。 ・最後に教師の家庭での役割分担にも触れ、大事なことは男女関係なく家族の一員としてお互いを思いやる心をもつことだと締めくくった。
2	道徳	母の反撃	<ul style="list-style-type: none"> ・導入時は、それぞれの家庭の仕事を紹介し、それを誰かが行っているかということを確認する。 ・資料を通じて、母が家事をやることの原因が、女性であるからという固定観念にとらわれていたことに気づき、性別がその理由に当たるのか考え、これからの生活の中で、男女がどのようにかわっていけばよいのか話しあった。自分のことは自分でやるのが大切だと言うことに気づいた生徒が多かった。
	道徳	母の反撃	家庭での仕事分担について話しあった。家族の一員としてできることは何か考えた。
3	道徳	いろいろな仕事	第2回女性部委員会12ページのジェンダーについての授業を参考に行った。中学3年生になり、仕事については自分たちで調べていたこともあって思っていたよりも反応は少なかったが、男女関係なく仕事を選択できる有難さを感じる授業になった。
	社会	第2章 人間の尊重と日本国憲法 2節 人権と共生社会	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女の年齢別賃金」のグラフから、25歳くらいから男女の賃金差が大きくなることを学んだ。 ・「女性の働いている割合」を示すグラフから、スウェーデンやドイツ等とは異なり、日本では25歳～45歳までの女性の働いている割合が下がっていることを知った。 ・賃金の差や働く割合が下がる原因として、女性が出産や育児で社会に出ていきにくいことに気づくことができた。
	社会	人権と共生社会	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の差別をなくすために「男女雇用機会均等法」や「男女共同参画社会基本法」が制定されていることを知り、女性が男性と対等に活動できる社会をつくっていくにはどんなことが必要であるかを考えた。
	社会	平等権と共生社会	男女平等を旨として男女雇用均等法・男女共同参画社会基本法 その内容と経緯を説明し感想を述べさせた。
	社会	平等権と共生社会	男女共同参画社会基本法・男女雇用均等法が、女性差別をなくすために、制定されたことにちなんで、身の回りの男女区別について、見つけさせた。「制服の違い」「名札の色の違い」等が出された。「保育士・介護士」等、普通名詞の男女が区別の必要性や変化などを確認した。

男女共同参画社会をめざして 実践報告集 2013

中学校

学年	教科等	単元名等	内容
3	社会	基本的人権と個人の尊重 「男女平等」	資料7 導入で、マンガ「サラリーマン専科」を提示し、吹き出しにセリフを考えさせた。生徒の男は仕事、女は家事という固定観念を学習課題として使った。展開では、事例を基に、憲法では男女平等を保障していることを気付かせた。また、実社会では、賃金や昇級に男女差があることをグラフなどから読み取り、ギャップを感じ取った。そのうえで、平等の社会を築くために大切なことを考えさせた。
	家庭科	「子どもにとっての家族を考えよう」	「イクメンとは…」と、問いかけながら、事例を紹介し、イクメンについての感想、良いところ・問題点などを話し合い、班の中で、話し合いました。育児休暇についても、意見が出され、男性が育休が取りにくい現実や思いなどを考えました。
	道徳	正しい異性理解 「アイツの進路選択」	資料8 導入で、理想の異性像の内面的な要素について環え、発言した。展開では、進路についての2人の考え方の異なっている点を整理し、よりよい異性の在り方について考えさせた。終末では、「男女交際において、本当に相手のことを大切にするとはどういうことか」欠かせ相手のよさを認め、高め合おうとすることの大切さに気付かせることができた。
	道徳	男女の人格の尊重	「どんな異性が理想か」という問いから入り、最後に、「理想の付き合い方でなければならぬ」という結論につなげた。
		帰りの会 読み聞かせ	資料10 絵本「おんなのこだから」(発行:岩崎書店 文:レイフ・クリスチャン/訳:にもんじ まさあき/絵:はた こうしろう)